

PROLOGUE

木二中 学校だより No.11 令和6年6月18日
校長 山元 竜二

木更津市立木更津第二中学校
〒292-0801 千葉県木更津市請西941番地
☎0438(36)2280 FAX0438(36)2233
E-mail:kisarazu2-j@kisarazu.ed.jp
<https://www.fureai-cloud.jp/kisa-kisarazu2-j>



「誹謗中傷する人へ」 ～武井 壮～

「いつか絶対その差が現れるよ。勝負しようぜマジで。心ない言葉を放つのは簡単だよ。人に対してさ、バカだのアホだの気持ち悪いだのなんだのさ、好きなこと言えるさ。あいつ嫌いだのキモいだのとかさ、言えるけどさ、それで傷つくのはとてつもなく深くて大きいんだぜ、お前ら。それがしかも治るのに本当にとてつもない時間がかかんだぞ。そういうことを簡単に当たり前に人に見えないからってするのはあまりにも卑怯じゃねえかなと俺は思うぜ。俺はそう思うよ。そんなことしてて自分の人生がプラスに働いていくことなんか俺はまずないと思う。いつか絶対その差が現れるよ。本当にグッと堪(こら)えてさ、文句言いたい自分とか、人を蔑(さげす)みたい自分を抑えてさ、いい言葉一個でも吐いて頑張ろうって思ってる人とか、それを簡単に人に吐いて人を傷つけ続けてる人とどれだけ人生差が出るか勝負しようぜ、マジで。俺はそういう悪口言わない。もう決めてタレントやってるから。別にあのいい人ぶってるとかじゃねえのよ。テレビでいい顔してるとかじゃねえのよ。そうしてる方が人生良くなるんだよ。本当に。そんなもん。まっすぐやってる人の方が絶対誰だつてさ、そういう人と時間過ごした方がいいよ。だから勝負しようぜ。結果わかんないけど。そんな俺がさ、どこまで行くのか、それとも悪口言ってる人がどんなことになっていくのか勝負しよう。」

【発言した原文のまま】テレビタレント：武井 壮

中学生である皆さんが、上記の武井 壮さんの言葉を読んで何を思いますか？どう感じますか？

6月5日、全校集会で私がお話しした内容を覚えているでしょうか？ネット上に不適切な画像のアップ、他人の写真を無断で、しかも加工までしてネット上にアップ、不適切なやりとり、誹謗中傷の書き込み。全国どこの小中学校、高校においてもSNSトラブルは絶えません、例外なく木更津第二中学校においても連日のように起こっており、その対応に苦慮しているところです。

SNSでのやり取りを含めたインターネットは、「匿名性が高い」だけで決して「匿名」ではないと全校集会でお話ししました。そのことをもう一度よく考えてみてください。

海外の入管施設から日本国内の強盗実行役に具体的な指示を出していたとされる「ルフィ」を含む犯行グループが使った手口が、携帯電話のチャットアプリ「テレグラム(Telegram)」でした。テレグラムは、強力な匿名性と機密性が確保されたインスタントメッセージングアプリですが、その特徴から闇バイトの募集やフィッシング詐欺、マルウェア感染、個人情報の盗難・漏洩といったサイバー犯罪の温床にもなっているということは中学生の皆さんであってもニュースを見ればわかるかと思えます。

調べてみると、「Wacha(ワチャ)」、「ガールズちゃんねる」、「HONNE」、「GRAVITY」、「焚き火チャット」、「ランダムチャット」といった匿名SNSチャットアプリが2024年のおすすめにランクインしています。それらの特徴や利用目的はもちろんアプリ毎に異なり、「ストレス解消と気晴らし」だったり、「趣味の話題で交流を図る」だったり、「相談事や悩みの共有」だったり多岐にわたりますが、共通して言えることは、「匿名性が高い」ということ。

まだまだ人生経験の浅い小中学生、高校生は、この「匿名性が高い」ということについて正しい理解がないために「何をしてもバレない」と誤って認識し、実際に攻撃的な行動に出たユーザーがコミュニティ内でトラブルを起こしていることが報告されています。それだけじゃない。匿名性が高いことを誤って認識しているがためにユーザー自身が自分の発信する情報に責任を感じていないことから、虚偽の情報やデマが拡散されやすく、誤解や混乱を招くという事態も起こっているとのこと。

もう一度言います。何度でも言います。「匿名アプリ」と謳(うた)ってはいるけど、それはあくまで「匿名性が高い」だけで決して「匿名ではない」ということ。でなければ連続強盗事件の指示役とされる「ルフィ」は逮捕されるわけがないし、匿名性が高いとされているチャットアプリでどんなやり取りがされていたのかなんて明るみに出るわけがない。当然プラットフォーム側だって自社が開発したアプリが犯罪利用されることは汚名にあたるため、警察等、当局からの捜査依頼があればいくらでも情報提供するに決まっ

ています。どういうことか理解できますか？記録が残っていないわけがないのです。

2・3年生の皆さんには、昨年度の学校だより「INSIDE OUT No.27」をもう一度読んでほしい。1年生の皆さんには、その一部を改めて紹介させていただきます。

「社会的淘汰」[しゃかいてきとうた]

「INSIDE OUT No.27」より

— それでもまだあなたは不適切なコンテンツを無作為に投稿しますか？ —

【中略】

厳しいことを記します。SNSを通じて不適切なやり取りをしたり、不適切な画像を投稿したりする者は、近い将来必ず社会的に淘汰されていきます。誰にも相手にされなくなるくらいならまだいい方。人生を棒に振ることになるということをおもなには理解してほしい。

中学卒業後、大学進学を考えている人ならあと7年後。高校卒業後ならあと3年後。いずれ君たちは就職活動、いわゆる就活の時期を迎えることとなります。ある企業に内定していた学生が、SNSが原因で内定が取り消されたというニュースを聞いたことがあるという人もいるでしょう。どういうことかわかりますか？中学生のみんなにも理解できるよう具体的に説明します。

就職試験は当然、人柄が重視されます。しかし、わずか数分の面接でその人柄まではわからないもの。コロナによりオンラインでの選考が主流になってきたこともあるでしょう。そんなことは企業の採用担当者だって百も承知しています。では、企業の採用担当者は、就活生の人柄をどのような手段で把握しようとしているのか？答えは簡単、就活生が利用しているSNSです。実際に現在数多くの企業が就活生のSNSをチェックしているそうです。

企業の採用担当者が就活生のSNSについて何をチェックしているのかというと、SNS上で交流のある就活生の「友だち」と「投稿内容」。これは、どんな人たちと関わっているのか、またどんな投稿をしていて、SNS上でどんな言葉遣い、どんな会話をしているのかを見られるということです。投稿内容に関しては、過去に遡って調べられるだけでなく、過去にどんな画像を投稿したのかも見られることにもなります。さらには、就活生がどんなコンテンツに「いいね」をしたか、どんなコンテンツをフォローしているのかまで調べ上げられるというから驚きです。

これを読んで、就活の時期がきたら「SNSのアカウントを一時的に削除すればいい。」とか、「携帯電話そのものを変えてしまえばいい。」とか、「投稿した不適切な画像は削除すればいい。」と考える人がいるかもしれません。でもそれはすべて無駄なこと。なぜなら、過去に遡ってまで調べるのは、企業の採用担当者ではなく、企業が調査会社に莫大なお金を支払ってまで調査を依頼しているからです。2021年の時点で調査会社に就活生のSNSに関して調査を依頼した企業は、400を超えたとも言われています。調査を専門とする会社が調査するわけですから、アカウントの削除も、携帯電話の買い換えも、不適切な投稿や削除であっても、ネット上の記録として残される以上、簡単に調べられてしまうということになります。そしてもう一つ。「裏アカ調査」といって、裏アカの特定を専門とする調査会社もあって、多くの企業が調査依頼をしているとのこと。もはやネット上には「匿名」なんてないのも当然であるということをしつかりと理解しておかなければなりませんね。

SNSトラブルは、木更津第二中学校では3年生よりも2年生、2年生よりも1年生に多く発生する傾向にあります。これは、年齢層が若ければ若いほどまだまだネットリテラシーが身につけていないからではないかということが言えるでしょう。

受容(じゅよう)型から双方向への発信型に変遷したネット環境。決して匿名であるわけがない「匿名性が高い」という言葉に踊らされて、心ない言葉・画像を発信してしまったり、近い将来我が身にどんなことが起こるのか。SNSを通じて不適切なやり取りをしたり、不適切な画像を投稿したり、人を傷つける誹謗中傷をしたりする者は、近い将来必ず社会的に淘汰され、誰にも相手にされなくなるどころか、人生を棒に振ることになる可能性もある。武井 壮さんは、そんなことがわかっている上で、

「心ない言葉を簡単に人に吐いて人を傷つけ続ける人とどれだけ人生差が出るか勝負しようぜ。」

という発言なんだと思います。

新年度がスタートして3ヶ月が過ぎ去ろうとしています。これまでの自身の生活を振り返って、この中学校には武井さんと勝負ができる人は何人いるのだろうか…。